

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

地域から草の根の運動を広げよう

第44回社保学校を開催

5月29日、第44回東京社保学校がけんせつプラザ東京で開催され、23地域17団体108人が参加しました。社保学校は、岡村副会長の司会で進められ、井手口副会長が主催者あいさつを行いました。

第1講義は「戦争法施行と明文改憲の動き、阻止のたたかい」と題して小澤隆一氏（東京慈恵会医科大学教授）が、第2講義は「青少年の居場所づくりKittosから見たもの」と題して白旗眞生氏（青少年の居場所・キートス代表）、第3講義は「TPPと医療問題」と題して



主催者挨拶
井手口副会長

須田昭夫氏（医師・東京保険医協会副会長）が行いました。

小澤隆一教授は、安保関連法に反対する運動が示した「憲法を支持する」国民の力にふれながら、憲法をトータル（平和主義のみならず民主主義、立憲主義）を否定する安保関連法の問題点について丁寧な説明されました。あわせて、憲法9条の意義にふれながら、安保関連法の施行・発動の先に展望される明文改憲の動きや安保関連法廃止・9条改憲阻止で「憲法を取り戻す」「立憲主義・民主主義・平和主義を取り戻す」との歴史的・画期的意義について講演されました。



小澤隆一教授

NHKで放映された「キートスの取り組み」のビデオを上映後、白旗眞生氏は、キートスで子どもたちと丁寧に取り組んでいる「青少年の居場所づくり」についての大変さややりがい等に等について率直のお話されました。



白旗眞生氏

須田昭夫氏は、始めにTPP協定にいたるまでの歴史的及び米国主導になる経過にふれ、その後、日本の公的医療保険とTPP（医療の営利化への動きやアメリカの要求）との関連について報告されました。また、国民皆保険制度が担保してきた安全・安心の医療の終焉や混合診療全面解禁による医療格差の導入など、医療におけるTPP協定の関わりと問題点について詳しく報告されました。



須田昭夫氏

▽ この3つの講義を受けた後、特別報告として、①歯科保険医協会から、今年1月に実施した「受診実態調査」についての特徴点についての資料の基づき報告されました。



②東京民医連からは、全日本民医連が実施した2015年「経済的事由による手遅れ死亡事例」の概要及び東京の事例が資料に基づき報告されました。



3つの講義と2つの特別報告を受け、寺川事務局長が以下の行動提起を行いました。

安全・安心の医療・介護を実現する大運動として、①「社会保障は国の責任です」署名に30万筆を目標に年内一杯取り組むこと。②都議会宛て「子育て支援のため、子ども医療費無料化拡充、子ども



の保険料軽減を求める」陳情署名（9月議会で審議）に8月上旬をめぐりに取り組む。③引き続き、1万か所学習運動に取り組む。④相談活動を各地域で展開しよう。

戦争法廃止、安倍政権ノーマの取り組みとして、①引き続き、戦争法廃止署名に取り組む。②参議院選挙で改憲勢力を少数に追い込み、明文改憲阻止、社会保障改悪ストップの運動を広げていくこと。

舛添都知事の政治資金使途疑惑に対して、説明を求める要請に取り組む。（6月1日の都議会開会日に知事要請を行いました。その後辞任となり、7月14日告示、7月31日投票で都知事選挙が行われることになりました）

以上の行動に取り組むことを提案し、参加者全体で確認しました。なお、社保学校参加者に「熊本・大分等九州地震災害支援カンパ」を訴え、3万1千6百円が集まりました。

感想文から



全体で58通の感想文をいただきました。その一部を紹介します。

（第1講義）

▽現在の憲法や戦争法の問題について、とてもよく判りました。まだまだ、戦争法への安倍政権の動きがとても危ないので、声を上げていきたいです。

▽自民党改憲草案は、国家と国民の立場を180度逆転させる内容。国家があつて国民があると・・・前文を読んだだけで明白、もともと国民に知らせないと。

▽憲法9条をどんなに歪めて解釈しても、他国に行つてアメリカと共に人を殺すことは出来ない。戦争法反対に向けて闘いましょう。（第2講義）

▽子ども食堂は、そのようなものがあると話は聞いていたのですが、実際に運営されている方のお話をきいたのは初めてだったので、とても勉強になりました。

▽白旗さんの丁寧な子どもたちとかわわっている姿がリアルに伝わっ

てきて感動しました。「貧困の子どもは隣にいる」重い言葉でした。

▽「青少年の居場所づくり」地域で重要な問題です。「高齢者の居場所づくり」もあります。地域で支え合うための場所や、それに関わる人の問題など、どう一歩前に進めるか考えたいと思いました。（第3講義）

▽米国医療の実態に改めて驚き、日本に持ち込ませてはならない！亡国のTPPの締結は日本の主権を米国に売り渡し、皆保険体制の崩壊となる。

▽皆保険制度、素晴らしい日本の保険制度を全力で守らなければ。▽米国主導のTPPでは、百害あつて一利なしの制度であることを改めて確認できました。（その他）

▽最後の事例報告も大変参考になりました。

▽日頃聞くことの出来ない情報を多く得ることが出来ました。また参加したい。（希望テーマ）

▽保育問題（保育士の低賃金、詰め込みなど）

▽若者の雇用問題と社会保障の現状など。

各地域・団体の取り組み

渋谷社保協

渋谷社保協は5月10日、「何でも相談会」を渋谷駅西口モヤイ像前で開催し、6団体10人が参加し、寄せられた相談は4件（法律、生活、年金、生保）でした。

渋谷で生保を受給している70代の男性からは、「四畳半のアパート1階の部屋を借りているが、湿気が酷い」ので引越したいとの相談があり、不動産屋を紹介し物件を探すことになりました。

福井会長が相談を受けた、新宿区で生保を受給している71歳の男性からは、生活保護費が減額されていることへの怒りの声と「1日を楽しく過ごしたい」と切実な声が寄せられました。

年金生活の70代の男性からは、年金引き下げ（年間163万円の支給額が143万円



に減額された）に怒りと疑問の声が寄せられました。

定例区議会請願

6月9日から始まる渋谷区議会に向けて、介護保険では、総合事業での緩和されたサービスの実施中止や、介護報酬の改悪をするな、介護報酬の大幅引き上げ、などを求める請願や、所得税56条の廃止

（事業主と生計を一にする親族が事業からの対価支払いを受ける場合には、その対価の額は、原則としてその事業主の事業所得の金額の計算上必要経費に算入しない）を求める請願をする予定となっています。

（渋谷社保協ニュースより）

江戸川社保協

6月12日、第20回江戸川社保協総会を開催しました。

昨年度の活動報告後、今年



度の重点課題として、「区独自の社会保障制度創設を求める」「憲法に基づく権利としての社会保障の意識を区民にも定着させる」などを掲げました。また、定例宣伝の実施や年金、法律、健康、くらしなど、包括的に網羅した「なんでも相談会」の実施を中心に取り組みます。そして、運動を広げるために障害者団体などへも参加を呼びかけたいきます。

第2部は、山家悠紀夫さん（元神戸大学大学院教授）を講師に、記念講演会を開催。アベノミクスの失敗で、暮らしは一段と厳しさを増している。大企業優遇では、経済の発展もなく、労働者の生活の安定こそが日本経済全体を活性化させるとの話がありました。

戦争法や社会保障改悪、雇用の非正規化など安心して暮らせる社会とは程遠い現実を、

地域からの運動で変えるために頑張ります。

（江戸川社保協より）

西多摩社保協

西多摩社保協は6月19日、第16回総会を開催し46人が参加しました。

相川東京社保協事務局次長が来賓挨拶を行い、「国民生活は増々貧困化している。『保育園に入れなかったのは私だ』の切実な声など市民の声と運動で政治を変える新たな流れが作られつつある。参院選・都知事選で、私たちの要求を実現する枠組み作っていきましょう」と強調。

総会では7団体が発言し、参加者全体で、活動総括と方針、決算・予算を確認しました。最後に、新役員を選出すると共に、事務局体制の強化を確認し総会を閉会しました。

（事務局次長 宮田 和志）

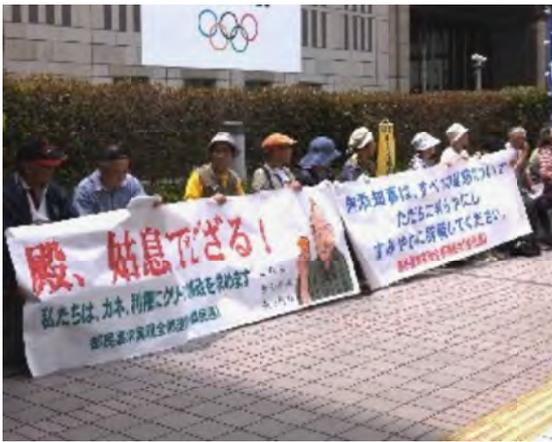


都議会開会日行動

6月1日、東京都議会第2回定例会の開会に合わせて、都民連・東京社保協・東京地評が共催する開会日行動が取り組まれ、約200人が参加しました。

舛添知事の、政治資金使途疑惑が明らかになった都議会開会日、主催者あいさつに立った東京地評の森田議長は、「8割の都民が辞職を求めている。疑惑の解明が重要だ」と訴えました。

参加団体報告では、福祉保育労から「保育士の賃金を看護師並みに引き上げるとした知事の公約が守られていない」ことを指摘。保育や介護の現場は職員が集まらず、子ども・利用者に十分な対応ができず「都民



の税金は都民のために使って欲しい」と訴えました。

東京平和委員会の岸本事務局長は、横田基地へのオスプレイ配備が来年に迫っていることに加え、千葉県木更津の米軍基地にオスプレイの整備拠点が作られ、テスト飛行も行われ、民間航空機が羽田空港に入るコースの下に木更津基地があり、着陸便への影響が懸念されること、東京中央市場労組からは、築地市場の豊洲新市場への移転凍結、オリパラ都民の会からは、都民本位のオリンピックク

に向けた訴えが行われました。
東京社保協の寺川事務局長からは、18歳までの医療費助成の実施は、都内62自治体の内4自治体、稼働所得のない子どもの国保料は23区で1人46200円にのぼることを指摘し、子どもの医療費助成拡充と国保料の軽減を訴えました。

東京社保協は、開会日行動に先立ち、都知事に対して、政治資金使途疑惑に対する都民への説明責任を求め、医療・介護・高齢者問題などの都民要求実現の要請を行いました。

第30回日本高齢者大会 in 東京

日時 8月28日(日)13:00~
8月29日(月)10:00~

会場 28日(日) 大正大学
学習講座・分科会
29日(月) 国際フォーラム
全体会(記念講演など)

記念講演 鳥越俊太郎氏(ニュースの職人)
憲法70年 未来へのメッセージ

日本高齢者大会実行委員会

中央社保協第60回総会

日程 7月25日(月)11時~

会場 けんせつプラザ東京

参加案内 ▽都知事選の関係で日程と会場が変更になりました
▽東京開催となりましたので各地域・団体から参加を

主催：中央社保協